



平成 30 年 3 月 23 日

各 位

会 社 名 サンデンホールディングス株式会社
代 表 者 代表取締役社長 神田 金栄
(コード番号 6444 東証第一部)
問 合 せ 先 執行役員経理本部長 梅村 信裕
TEL(03)5209-3341

抜本的構造改革による 特別利益(投資有価証券売却益)および特別損失(構造改革費用)の計上に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 5 月 11 日に発表いたしました中期経営計画の達成に向け、4つの柱からなる重点項目に取り組んでおり、その一環となる財務体質強化に向けた資産効率改善について、当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、特別利益(投資有価証券売却益)が発生いたしました。

また、重点項目の一環となる事業ポートフォリオの選択と集中について、本日開催の取締役会において、住環境システム領域を中心とした製品の製造を終息することを決議し、特別損失(構造改革費用)を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別利益(投資有価証券売却益)

(1) 投資有価証券売却の理由

財務体質強化に向けた資産効率改善

(2) 投資有価証券売却の内容

- ① 売却資産 投資有価証券 15 銘柄
- ② 売却発生年月日 平成 30 年 2 月 21 日から平成 30 年 3 月 22 日
- ③ 投資有価証券売却益 約 26 億円
- ④ 上記及び平成 30 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)までに売却した 16 銘柄を併せた投資有価証券売却益は、約 48 億円となります。

2. 特別損失(構造改革費用)

(1) 住環境システム領域を中心とした製品の製造を終息する理由

重点項目の一環である事業ポートフォリオの選択と集中について、当社は成長事業へ資源を集中的に配分し、収益力を伴う成長路線に回帰するため、住環境システム領域を中心とした製品の製造を終息することを決定いたしました。

(2) 特別損失の計上について

平成 30 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間において、終息にかかる有形固定資産の減損損失約 8 億円を含め、約 30 億円を構造改革費用として特別損失に計上いたします。

3. 今後の見通し

平成 29 年 11 月 7 日に公表いたしました連結業績予想数値については、現時点で修正はありませんが、変化が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以上